

6月定例会で決まったこと

25年度補正予算の主な内容

- 自治総合センターコミュニティ助成金関係……635万円
 - ・橋場生活改善センター運営委員会（テーブルなどの購入）
 - ・馬淵川源流太鼓の会（太鼓、はんでんなどの購入）
 - ・消防団、婦人消防協力隊（テーブル、煙体験用テントなどの購入）
- 商店等設備更新支援事業（補助金）……………400万円
- 七滝山村広場遊歩道改修工事……………300万円
- 風疹麻疹の予防接種助成……………100万円

25年度補正予算、条例の制定や一部改正などの審議が行われ、原案どおり「可決」されました。主な内容は次のとおりです。

補正予算

一般会計に3億104万円追加し、総額を54億155万円としました。支出では、地域づくり振興基金に1億7千万円を積み立て、総額6億7383万円。公共施設等整備基金に1億円を積み立て、総額は20億2010万円となります。その他の主な支出の内容は上の表のとおりです。

条例制定・改正

●議会総合条例

議会の会期を通常とし、会議を開く定例日が決まっているため、あらかじめ日程を把握でき、町民が議会に参加しやすくなります。詳しくは、25ページ関連記事をご覧ください。

●定住促進住宅条例

若者の定住や町外からの移住を促進して地域を支える人材の育成と確保

●町税条例の改正

個人町民税の住宅ローン控除の適用期限（25年12月31日）を、29年12月31日まで4年間延長します。また、26年4月以降に居住する方が控除できる限度額を5%から7%に引き上げます。

●職員の給与条例等の改正

国が進める地方交付税の減額措置により、不足する財源を確保するため、町長、副町長、教育長、一般職の給与を一律3.6%減額します。減額する期間は、25年7月から26年3月までの9カ月間で、約1442万円の減額が見込まれます。

財産取得

| | | |
|------|--------------|-----------------|
| 取得財産 | 第5分団ポンプ自動車 | 第7分団小型動力ポンプ付積載車 |
| 契約額 | 1,911万円 | 891万円 |
| 納期 | 26年2月28日 | |
| 契約相手 | 矢巾町・互光商事株式会社 | |

●「協同労働の協同組合法仮称の速やかな制定を求める意見書」に関する陳情書

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団盛岡中央事業所から提出された陳情は、審査の結果「採択」と決定し、内閣総理大臣のほか衆参両院議長などに、意見書を提出しました。

岩手土木センターと意見交換会

2日目の視察終了後に行われた情報交換会では、茶屋場地区交差点や四日市地区の道路改良、砂防事業などの県営工事の内容の説明を受けました。意見交換では、町道田子線の歩行空間への整備支援や、国道340号の歩道（江刈地区）、主要地方道一戸葛巻線などの整備に対する意見が活発に交わされました。また、



単管パイプを活用した手すりを設置した橋（江刈小屋瀬）

冬期間の凍結による危険な道路箇所の把握について、町が県に情報を提供することを確認しました。

輝くふるさと常任委員会

災害復旧工事箇所など町内を視察

住民要望の解決へ、活発な意見

輝くふるさと常任委員会は5月30日と31日、24年度に完了した事業と25年度に事業実施する箇所を視察し、完成状況や事業内容を確認しました。2日目には、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（今野政和所長）と「県営工事等についての情報交換会」を開催し、県が行う道路整備事業などについて意見交換を行いました。

今回の視察箇所は、24年2月に発生した低温が原因で、路面がひび割れた町道の復旧工事箇所を中心に、25年度に着工する町道整備箇所、23年9月の台風15号の大雨による災害復旧工事完了箇所、葛巻病院医師住宅、定住促進住宅などです。

1日目は、町中心部と江刈方面を中心に視察。このうち、町道茶屋場田子線は「歩行空間の整備の検討を」、町道宝積寺



議会報告会の要望箇所を調査（小屋瀬・弓弦部線）

線は「融雪システムは全線に設置が必要」との意見が出されました。2日目は、田部、小屋瀬方面の現場を視察。林道案内沢線では「落石の危険があるため十分な安全対策の確保が必要」、などの意見が出されました。そのほか、「議会報告会」で出された要望箇所を調査しました。町道小屋瀬弓弦部線の道路カーブの改良、町道辰鼻線の道路改良など、要望箇所の整備の必要性を感じました。

【主な意見】

- ◇ 単管パイプを活用した橋の手すり整備は、機能性、安全性の効果が高いと感じるため、未設置箇所への整備を進めて欲しい。
- ◇ 公共施設解体撤去事業の実施に当たっては、他の工事の実施計画と調整し、適正な時期に早期発注するよう進めて欲しい。
- ◇ 町内全域の河川や用排水路などに、買い物袋や農業用廃プラスチックの破片が多く散見されていた。また、家屋や牛舎などの周辺環境整備を徹底する必要があると感じたため、町民に対する呼びかけをして欲しい。